

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	基礎演習 I	小林 俊哉	1 年次	春

授業のキーワード	読解、理論的思考、論述、問題解決
授業の概要	大学での学習・研究生活を送るための基礎技能の修得を目指すのがこの「演習」の目的です。研究をするためだけにとどまらず、さまざまな場面に有用なスキルを会得します。
期待される学習成果（目標）	1. 論理的な文章を読み、その内容や構成を理解できます。 2. あるテーマに関する論理的な構成を有する文章を書くことができます。 3. 与えられた課題の問題解決を試み、その解決法を説得的に述べることができます。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	オリエンテーション	「ゼミで学ぶ」ことについて、その概略を学びます。	第 9 講	話す・聞く	第 8 講に引き続き口頭発表を継続します。
第 2 講	合同ゼミ		第 10 講	合同ゼミ	
第 3 講	読む	新聞の解説や社説を読み、それらの文章の論理構成を考察します。	第 11 講	問題解決	「問題解決」の基本を学びます。その上で自分の「問題」を探し解決を試みます。
第 4 講	読む	評論文を読み、第 3 講に引き続き「読む」ことの学びを深めます。	第 12 講	問題解決	前講に引き続き、自分の問題の解決を試みます。また他者の問題を聞き、その解決の可能性を探ります。
第 5 講	聞く	小説の朗読を聴き、「聴いて理解をする」ことの訓練をします	第 13 講	まとめ(1)	これまで学んできた事項のレビューをしながら、必要に応じて進度調整を行います。
第 6 講	合同ゼミ		第 14 講	合同ゼミ	
第 7 講	話す	自分のこれまで歩んできた道を振り返り、そこから一つの「物語」を紡ぎ出します。その作業を行います。	第 15 講	まとめ(2)	これまでの内容のレビューと期末課題の提出を行います。
第 8 講	話す・聞く	前講で開始した作業の仕上げを確認し、口頭発表をします。また他者の発表を聞く訓練を行います。	定期試験		自分史紹介資料、問題解決課題、そして期末課題の 3 点を提出することにより定期試験に代えます。
評価方法		中間課題各 30%(計 60%)、期末課題 40%。なお卒業時まで「漢検」に合格することが「基礎演習 I」の成績評価の前提となります。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
学校指定の漢検テキスト					